

国道 25 号大阪柏原バイパス整備促進大会 報告

1. 開催日時 令和7年 10 月 19 日(日) 10:30~11:15
2. 開催場所 八尾市生涯学習センター「かがやき」4階 大会議室
3. 次 第 (1)開会 (2)あいさつ (3)主催者紹介 (4)来賓祝辞 (5)来賓紹介 (6)要望文読み上げ (7)要望書手交 (8)ガンバロウ三唱 (9)閉会
4. 参加者 194 名

【来賓】

国会議員 :6名(青柳議員、石川議員、杉議員、岡崎議員、佐々木議員、宮出議員)
代理出席 :2名(浅田議員、松川議員)
府議会議員 :3名(中谷議員、前田議員、堀川議員)
市議会議員 :八尾市議会議員、大阪市議会議員、柏原市議会議員
国土交通省 :国土交通省近畿地方整備局 齋藤局長、西野道路部長、志々田大阪国道事務所長
商工会議所等:八尾商工会議所 山口会頭、大阪商工会議所 近藤常務理事、柏原市商工会 門谷会長

【主催者】

国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会(八尾市、大阪市、柏原市)・大阪府
八尾市長 大松桂右(期成同盟会会長)、大阪市長 横山英幸、柏原市長 富宅正浩
大阪府知事 吉村洋文

5. 概要(発言要旨)

■あいさつ 大松桂右 八尾市長

本大会は、国道 25 号大阪柏原バイパスの早期整備に向け、地元の機運を高めていくとともに、地域の大きな期待、熱意を国に届けるために開催するものであり、本日、このように多くの方々に来ていただき、改めて、このバイパスに対する期待の大きさ、地元の熱い想いを実感している。地域産業の要となる国道 25 号は、大阪府と奈良県を結ぶ重要な交通の動脈でありながら、2車線区間では慢性的な渋滞が発生し、防災活動や企業活動、市民生活にも多くの影響を及ぼしている。また、近い将来発生が予測されている南海トラフ地震などの大規模災害に対応し、生命・財産・暮らしを守り、経済活動を含む社会の重要な機能を維持するための国土強靱化につながる、道路整備が急務である。

本市には八尾空港や大阪府中部広域防災拠点があり、国道 25 号大阪柏原バイパスは、渋滞対策のみならず、災害時の府県間緊急輸送道路としても重要な役割を果たす。また、ものづくりの盛んな大阪東部地域の産業集積を支え、企業活動の活性化や新たな産業集積の実現にも大きく寄与するものと期待している。

令和2年 12 月には、大阪市、柏原市、八尾市、オブザーバーとして大阪府が参画した期成同盟会を設立し、これまでに抜本的な渋滞対策が図られ、広域的な防災力向上に繋がる国道 25 号大阪柏原バイパスの整備を国に対して強く要望してきた。引き続き、本バイパスの早期整備が図られるよう、しっかりと取り組んでまいりたい。



大松 八尾市長

■あいさつ 吉村洋文 大阪府知事

道路ネットワークが非常に重要になってくる。現在の国道 25 号は、中河内地域の東西の交通を支える重要な路線であるが、非常に慢性的な渋滞が発生しており、防災活動や企業の活動、市民の皆さんの活動において、様々な大きな影響が生じている。国道 25 号大阪柏原バイパスの整備が実現すれば、地域の抜本的な渋滞解消に繋がるとともに、大阪府の中部防災拠点へのアクセスが強化され、周辺地域の防災の強化につながる。バイパスの実現は、大阪東部地域の道路ネットワークにおいて非常に重要な機能を発揮するものと考えている。国において「国道 25 号大阪柏原バイパス」の整備実現に向けた議論が進められるよう、大阪府としても訴えかけていく。



吉村 大阪府知事

■来賓祝辞 青柳 仁士 衆議院議員

国道 25 号は、渋滞を引き起こしており、地域の方々から何とかして欲しいという声がある。大阪が発展していく上で基幹となる非常に重要な道路である。

是非とも、党派を超えて、大阪の発展のために、全員で力を合わせて、必ず実現に向けて、一步一步前に進めていきたい。私も、できる限りの努力をこれからも続けていきたい。

■来賓祝辞 石川 博崇 参議院議員

国道 25 号は、産業の要となる重要な道路であり、また防災の観点からも、八尾空港、中部防災拠点からの物資搬送の基軸となるが、残念ながら全国屈指の渋滞状況が続いている。全国的にも例が少ないこれだけ渋滞している道路を、何としても解消しなければと国も力を入れて頂いているところであるが、地元の皆様と共に今後もこの国道25号バイパス実現に向けて頑張ってもらいたい。バイパスの実現に向けて、さらに全力を向けて尽くしていくことを約束させて頂く。

■来賓祝辞 杉 久武 参議院議員

国道 25 号は、慢性的な渋滞が続く中、市民生活をはじめ、大きな影響が出ており、これまで、国土交通省にもこの件をお話させて頂いてきた。しっかりと皆様と一緒に、1 日も早くこのバイパス整備が実現できるように、全力で取り組んでまいりたい。

引き続き、皆様から現場の状況、ご意見を届けて頂いて、しっかりとこの施策を前へ進めていく。バイパスの実現に向けて全力で頑張ってもらいたい。

■来賓祝辞 岡崎 太 参議院議員

道路を人間で例えると、血管の役目を果たしていると考えている。その中で大きな動脈が動かないということは、大きな病気にかかる可能性も含んでいる。そういうことを踏まえ、このバイパスはなんとしても早期に実現させる必要があり、重要であると考えている。

大阪の発展、そして成長は、我々の願いでもある。是非ともこのバイパスの促進に向けて全力を傾けてまいりたい。

■来賓祝辞 佐々木 りえ 参議院議員

八尾に足を運ばせて頂く度に、国道 25 号の渋滞は、大きな問題だと考えている。工場や自宅が道路沿いに建っており、国道 25 号の拡幅工事は非常に難しい状況であると思う。

柏原ではぶどう農園が有名であるが、国道 25 号のバイパスを整備することにより、地域の活性化をしっかりと図る道路になると信じており、今後のバイパス整備に向けて努力してまいりたい。

■来賓祝辞 宮出 千恵 参議院議員

国道 25 号バイパスの整備は、地域の発展、地域の皆様の暮らし、また、防災の観点から見ても、本当に必要である。この中河内地域のさらなる発展と、そして市民の皆様の安全の向上のために、一刻も早くバイパス整備に向けて、皆様と力を合わせて進んでまいりたい。

■来賓祝辞 齋藤 博之 近畿地方整備局長

この国道 25 号は、三重県四日市市から奈良県を通り、大阪市を結ぶ交通の動脈となる道路である。一方、柏原市から大阪市にかけては、まだ二車線区間が残っている。この二車線区間においては、慢性的な渋滞が発生している状況である。国土交通省としては、この渋滞対策の検討を進めるとともに、この当該地域の交通状況、社会経済状況等を踏まえながら、道路の必要性、整備効果等の調査を実施しているところである。また、道路ネットワークの整備や機能強化を早期に実現するためには、安定的な予算の確保が極めて重要である。今年の 6 月に第一次国土強靱化実施中期計画が閣議決定された。5年間で 20 兆円強程度を目途とするとされたところである。これまでの5年間で 15 兆円と言われている国土強靱化加速化対策に比べ、増額を頂いているが、しっかりと引き続き確保する必要がある。また、資材価格も高騰している。人件費、設計労務単価も上昇している影響もあるので、継続的、安定的に切れ目なく道路整備が進められるよう、皆様の引き続きのお力添えをよろしくお願いする。



青柳 衆議院議員



石川 参議院議員



杉 参議院議員



岡崎 参議院議員



佐々木 参議院議員



宮出 参議院議員



齋藤 近畿地方整備局長

■要望文読み上げ 横山英幸 大阪市長
(要望文読み上げにあたり挨拶)

国道 25 号は、物流、防災の観点から非常に重要な道路だが、現状では慢性的な渋滞など、非常に多くの課題を抱えている。国道 25 号大阪柏原バイパスは、災害時に中部広域防災拠点である八尾空港と、そして後方支援活動拠点である長居公園とが接続され、防災力が格段に向上することが期待できる。大阪市としても、非常に重要な路線であると認識しており、実現に向けて関係者が一丸となって、引き続き取り組んでいくので、国においても格段のご配慮をお願いする。



横山 大阪市長

■ガンバロウ三唱 富宅正浩 柏原市長
(ガンバロウ三唱にあたり挨拶)

このバイパスは、柏原市にとっても非常に重要な道路。渋滞対策はもとより、経済の活性化、さらには災害時の命を守る道路としても非常に重要である。

さらには、新たなまちづくりにも寄与するものと考えており、その効果は絶大である。これから皆さんの力を借りながら、しっかりと前へと進めていきたいと思っているので、引き続きのご支援、ご協力をお願いする。



富宅 柏原市長

■ご来賓の方々



中谷 恭典 府議会議員



前田 洋輔 府議会議員



堀川 裕子 府議会議員



近畿地方整備局
西野 毅 道路部長



要望書手交(青柳衆議院議員)



要望書手交(杉参議院議員)



要望書手交(齋藤近畿地方整備局長)



八尾商工会議所 山口 孝満 会頭
大阪商工会議所 近藤 博宣 常務理事
柏原市商工会 門谷 秀雄 会長



ガンバロウ三唱